



地域医療連携室だより



Vol.163

だより内に



発行元 地方独立行政法人
市立大津市民病院 地域医療連携室
住 所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
電 話 077-526-8192
F A X 077-522-0192 発行日:2022年12月1日

市立大津市民病院

検索

が5ヶ所登場しています。ぜひ探してみてください。疫病退散。

泌尿器科のご紹介

泌尿器科 診療部長:長船 崇



2022年10月1日より大津市民病院泌尿科部長として着任致しました長船崇です。1999年3月に滋賀医科大学を卒業し、大学で2年間研修の後は滋賀、京都の病院で臨床業務に従事してまいりました。前任地では2011年よりロボット支援手術を導入し低侵襲で質の高い治療の提供に努めてまいりました。同時に着任となりました河内明宏医師、永澤誠之医師、井上健太郎医師とともに、自分の家族を診療するのと同じ気持ちで地域の皆様に寄り添った医療を提供できるよう努めさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。



当院では2014年度から手術支援ロボット「da Vinci surgical system」が導入されております。ロボット支援手術のメリットとして①体内に挿入するロボットの「手」が多関節であること、②術者は3D立体画像モニター下にコンソールシートで座位にて安定した姿勢で手術が行えること、③術者の手ブレ防止機能がついていること、が挙げられます。このため、従来の開腹手術や腹腔鏡下手術と比較して、より繊細で正確な操作が可能となり、出血量の減少、周術期合併症の減少が期待できます。患者様にとっても、我々にとってもロボット手術のメリットは非常に大きいと考えています。

現在当科では前立腺がん、腎細胞がん、腎盂尿管がん、膀胱がん、骨盤臓器脱、腎盂尿管移行部狭窄症に対し積極的にロボット支援手術を行なっております。常勤医師4名のうち、3名がロボット支援手術の指導資格(プロクター)を有しており、低侵襲で、根治度の高い手術を安心して受けていただけたと考えています。またそれ以外の泌尿器科疾患についても、より低侵襲でより根治的な治療を行うよう日々精進しております。

全スタッフが高い専門性と豊富な知識に基づきながら、患者様に寄り添った医療に取り組んでまいります。地域の先生方とともに、泌尿器疾患で困られている患者様に貢献できるよう努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



大腿骨近位部骨折と二次性骨折予防

— 当院における取り組み —

整形外科 医長

リハビリテーション部 診療部長: 小椋 明子



地域の先生方におかれましては、常日頃より当院の地域医療連携にご協力いただき誠にありがとうございます。

当院整形外科では従来通り、外来での保存療法と慢性疾患や外傷に対する手術療法を主に行っております。コロナ禍の中で感染ERを開設しているため熱があったり感染している外傷患者さんも受け入れて入院や手術をしています。外傷の中で特に多いのが、大腿骨頸部骨折や大腿骨転子部骨折などの大腿骨近位部骨折です。自力で動けなくなり救急搬送されてくる患者さんが大半であり、保存療法で寝たきりになることが予想されるため、どれほど高齢であろうと体力的に耐えられる限りは手術の適応となります。しかしながら併存症があり心肺機能も低下していることが多いため、周術期のリスクは高く、何より入院・臥床により認知機能が低下してしまうケースが多くみられます。



以前に地域医療連携室だよりにて骨粗鬆症について紹介した折にも触れましたが、大腿骨近位部骨折のほとんどは骨粗鬆症がもとで起こる骨折です。残念ながら私たち医療従事者が感じている「骨粗鬆症は高齢者の身心状態や生活に大きく影響する」という認識や骨折の危険度・予防についての知識は、一般的にはそれほど広まっていないのが現状です。骨粗鬆症に対する啓蒙活動の不足も相まってか、骨折をする前に骨粗鬆症の予防や治療をしている患者さんはほとんどが二次健診で来院されており、自ら骨粗鬆症の検査を希望されて来院する方はごく稀です。そのため病院では、大半が骨折後に骨粗鬆症の評価や治療を開始することになります。

当院では、以前は入院された大腿骨近位部骨折の患者さんに対して、個別に骨密度検査や投薬治療を行っており対応はまちまちでした。今年度からは一元管理をし、全員に骨密度検査を行って、Ca値や腎機能とあわせて評価を行ったうえで、治療を開始するようにしています。また、6月からは、施設基準を満たしたことで、二次性骨折予防継続管理料1および3の算定を行っていますが、現状としてはほとんどが管理料1の算定となっています。

今後は薬物治療に限らず、栄養指導や体操指導などもより積極的に行っていく予定です。その他にも骨粗鬆症リエゾンマネージャーを中心に、院内の部署だけでなく地域の医療機関さまとも連携して、大腿骨近位部骨折患者さんの骨粗鬆症の予防や治療を進めていきたいと考えていますので、どうぞよろしくおねがいいたします。



11月14日は世界糖尿病デーです



シンボルマーク

毎年11月14日は「世界糖尿病デー」です。当院では今年も11月7日より11月21日までブルーライトアップを実施しておりました。

糖尿病デーのテーマカラーであるブルーは、国連と空を表すブルーを表しています。そして、団結を表す「輪」を使用したブルーサークルがシンボルマークとして採用されています。

当院で例年行っております市立大津市民病院大学公開講座「糖尿病 110 番」は、コロナ禍の影響で今年も集合開催は中止となりました。

今年は糖尿病チーム「Team compass」で糖尿病に関する冊子を作成し、糖尿病デーに合わせて各部署で設置をしました。いかなる状況でも糖尿病治療の継続は必要であり、日本糖尿病協会ホームページでは治療継続のための様々なコンテンツが用意されています。

*「世界糖尿病デー」は糖尿病の療養・教育・啓発を目的に国連決議で採択された日です。



大津駅側



国道沿い看板

2年目研修医note

出身大学・卒業年度

大阪大学 令和3年度卒業

趣味・特技・好きな時間の過ごし方など

趣味はバイク、一人旅

医師を目指した理由

実家が開業医で、小さい頃から父親の仕事を見ていたから

どんな医師になりたいですか？

満足度の高い医療を提供できる医師

研修医2年目の目標

画像読影をより極める

地域の先生方へのメッセージ

まだまだ未熟者ですが、可能な範囲で地域の医療に貢献できるよう尽力させていただきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



なかだ こうすけ
中田 光宥



出身大学・卒業年度

奈良県立医科大学 令和2年度卒

趣味・特技・好きな時間の過ごし方など

最近ではベランダで植物をたくさん育てております。花が咲いたり実がなったり四季を感じられていいものですね。

医師を目指した理由

人を笑顔にし、人から感謝される仕事だから

どんな医師になりたいですか？

患者様の心身の痛みに温かく寄り添い、患者様に先生がいて良かったと言ってもらえるような医師

研修医2年目の目標

自分の志望科の患者様だけでなく、幅広い患者様に的確な診療ができるように研鑽を積んでいきたい。また、後輩に指導する中で自分の知見をどんどん深めていきたい。

地域の先生方へのメッセージ

地域の患者様のために精一杯頑張ります。何卒よろしくお願いいたします。



はなわ けいすけ
塙 啓佑



クイズの答え：1 ページ目 右下/2 ページ 右下/3 ページ目 2 年目研修医内/4 ページ目 MSW アイコさんタイトル内/右下

地域医療連携室からのご挨拶

病診連携チームよりご挨拶

本年度はマスコミの報道にもありました件で多大なるご心配、ご迷惑をおかけしたにもかかわらず、励ましや労いのあたたかいお言葉もたくさん頂戴いたしました。

その言葉の一つ一つが私達の活力となり、この一年間がんばることができました。

この場をおかりし、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

この一年で培ったチーム力を糧に、来年度からはより一層、迅速かつ丁寧な対応ができる様に邁進してまいります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

堀田室長よりご挨拶

平素は地域医療連携室業務へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

4 月から職員が替わり、関係各所の皆さまにはご迷惑をおかけしていることをお詫び申し上げます。

引き続き、紹介患者様にはスムーズに受診していただき、診察・検査予約・結果報告など地域の医療機関様との連携推進に努め、担当部長の中嶋副院長中心にスタッフ全員で尽力して参ります。

新しく医師を迎え体制が整った診療科へも安心して患者様をご紹介いただければ幸いです。

今後とも当院の地域医療連携室をどうぞよろしくお願い致します。

